

## 2021年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月28日

上場会社名 アクモス株式会社  
 コード番号 6888 URL <https://www.acmos.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 飯島 秀幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画管理部部長 (氏名) 末國 真一

TEL 03-5217-3121

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年6月期第3四半期の連結業績(2020年7月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	3,496	6.2	455	12.3	456	12.4	324	5.2
2020年6月期第3四半期	3,726	4.3	519	46.2	521	47.0	341	36.1

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 342百万円 ( 1.6%) 2020年6月期第3四半期 348百万円 (37.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	33.35	
2020年6月期第3四半期	35.26	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	3,462	2,396	67.4
2020年6月期	3,470	2,132	59.7

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 2,333百万円 2020年6月期 2,073百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期		0.00		11.00	11.00
2021年6月期		0.00			
2021年6月期(予想)				9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,910	0.6	420	18.8	425	19.4	270	19.4	27.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期3Q	10,215,400 株	2020年6月期	10,215,400 株
期末自己株式数	2021年6月期3Q	461,342 株	2020年6月期	515,942 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年6月期3Q	9,723,569 株	2020年6月期3Q	9,699,500 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2021年3月31日、以下「当四半期」という。)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が続くなか、国内では感染者数の増減が繰り返し未だ収束の見通しが立たず、景気の見通しは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業を取り巻く環境では、民間企業のIT投資に対する姿勢も一部に慎重な状況がみられますが、一方でデジタルトランスフォーメーション(DX)による既存システムの刷新や、新たなビジネスモデルの構築、生産性向上による競争力の強化などを目的としたICT技術の活用が注目されてきております。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機としたテレワークや遠隔操作、自動化などのためのICTの活用やIoTの普及に伴い、ネットワーク保守やデータ流通における安全性の確保、サイバーセキュリティの強化の重要性が増しているほか、地震や大雨等による近年の自然災害の増加を受けて、防災関連のシステムが注目されてきております。

当社グループは、2025年6月期までに取り組むべき事業の方向性を示す「長期ビジョン2025」を2016年に制定いたしました。その最初の3年間の計画として進めてきた「中期経営計画I(2016/07-2019/06)」に続く次の3年間の計画「中期経営計画II(2019/07-2022/06)」では、テーマ「発展」を掲げ、専門分野を深耕し、新サービスでお客様を獲得する個性豊かなグッドカンパニーを目指しております。

新型コロナウイルス感染症拡大防止への対策については、引き続き社員へのマスク着用やうがい・手洗いの徹底、テレワークの活用、会議や研修等でのリモート対応などの取り組みを継続しております。また、研修の参加者や遠隔地への出張者には、お客様や社員の感染リスク低減を目的として独自にPCR検査を実施する取り組みを始めました。

前第3四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2020年3月31日、以下「前四半期」という。)に売上計上した官公庁での情報基盤システムの構築に係る入札案件や、民間のシステム更新案件のピーク時期にあったことなどによる一時的な売上増加要因がなくなっているものの、当社グループの当四半期における新型コロナウイルス感染症による影響は当期の計画立案時点の想定より若干軽微な傾向が続いており、営業利益については概ね予定どおりの進捗となりました。

当四半期の売上高は前四半期から229百万円減少し、3,496百万円(前四半期は3,726百万円、前四半期比6.2%減)となりました。営業利益は455百万円(前四半期は519百万円、前四半期比12.3%減)、経常利益456百万円(前四半期は521百万円、前四半期比12.4%減)となりました。前連結会計年度にかかる税額控除額等20百万円により税金費用が減少したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は324百万円(前四半期は341百万円、前四半期比5.2%減)となりました。

各セグメント別の状況は以下のとおりです。

#### (ITソリューション事業)

1) SI・ソフトウェア開発分野では、前四半期に売上計上した官公庁の情報基盤システムの構築案件や、前四半期では稼働者数がピークであったメーカーから受託しているシステム更新プロジェクトの開発案件など一時的な売上増加要因が当四半期ではなくなっている一方、当四半期ではシステム更新プロジェクトの開発案件は保守フェーズに移行して引き続き取引が継続しているほか、公共系の開発案件や消防通信指令システムの定期改修業務などが堅調に推移いたしました。地図情報関連事業では地方や特に民間への新規営業活動が難しいなか、既存取引先、地方自治体の業務や、森林ICTプラットフォーム関連、消防GISや防災関連システム構築などを中心に業務を進めました。また、システムエンジニアリングサービス(SEES)ではシステムインテグレーター(Sier)からの公共系を中心とした開発で前四半期を上回る稼働率となっております。当四半期のSI・ソフトウェア開発分野は概ね予定どおりの進捗となり、売上高は2,289百万円(前四半期比8.6%減)となりました。

2) IT基盤・ネットワーク構築分野では、既存のお客様のネットワーク運用保守をはじめ、首都圏のネットワーク・セキュリティ関連案件の開拓と稼働率の向上、医療系システム関連での運用業務と販路拡大に努め、受注活動は堅調に推移しました。パートナー商材を活用した構築案件など製品・サービスの販売が伸びたことや、官公庁の業務基盤の運用保守や関連装置の納入などの取り組みにより、当四半期のIT基盤・ネットワーク構築分野の売上高は942百万円(前四半期比8.0%増)となりました。

自社開発の標的型攻撃メール対応訓練ソリューション製品SYMPROBUS Targeted Mail Training(以下「TMT」という。)とSYMPROBUS CoTra Enterprise(以下「CoTra-Ent」という。)についてはお客様の要望などを取り入れながら継続的に改良を行っております。当四半期末現在、TMT、CoTra-Entは追加契約、契約更新して頂いたお客様

を含め、延べ13万を超える累計のライセンス数となっております。

以上の結果、当四半期のITソリューション事業全体の売上高は3,232百万円(前四半期は3,379百万円、前四半期比4.3%減)、営業利益は454百万円(前四半期は504百万円、前四半期比9.8%減)となりました。

(ITサービス事業)

ITサービス事業では、当四半期は第2四半期から引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による集合形式のイベントの中止や延期があり、アンケートや試験事務局の業務への影響が継続しております。また、ストレスチェック業務では、実施の延期、顧客側の業績悪化による予算縮小などの影響があり、ストレスチェック関連の売上高は前四半期比で12.4%減となりました。従業員に対するアンケートサービスを対象に新規お取引法人へ「コロナに負けるなGOGO(55%OFF)キャンペーン」を2021年2月1日から実施(2021年4月30日申込まで)し、また紙の健康診断結果をデータ化するサービスなどの営業活動をすすめました。

当四半期でも全体的に業務量が減少していることから休業による雇用調整助成金を活用して人件費を圧縮し、外注コストの見直しや内製化による原価コストの削減を進めるとともに、既存顧客への深掘り営業とEAP(注)事業会社に対するシェア拡大のためのストレスチェック業務の営業活動を進めましたが、売上高は274百万円(前四半期は362百万円、前四半期比24.3%減)となり、営業利益32百万円(前四半期は営業利益39百万円、前四半期比19.2%減)となりました。

(注)EAP:Employee Assistance Program(従業員支援プログラム)

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当四半期末における総資産は、前連結会計年度末から7百万円減少し、3,462百万円となりました。これは主に売掛金の増加404百万円があった一方で、現金及び預金の減少455百万円があったことによるものです。

(負債)

当四半期末における負債は、前連結会計年度末から271百万円減少し、1,066百万円となりました。これは主に未払費用の減少293百万円があったことによるものです。

(純資産)

当四半期末における純資産は、前連結会計年度末から264百万円増加し、2,396百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益324百万円を計上したことにより利益剰余金が468百万円となったこと及び、配当金の支払106百万円があったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月4日付の「2020年6月期決算短信」にて公表いたしました2021年6月期の業績予想に変更はありません。

当社グループでは新型コロナウイルス感染症による影響を受けているものの、将来における受注及びプロジェクト進捗への影響、お客様からのご要望、新型コロナウイルス感染症への関係者の罹患といったリスクに対して影響を正確に把握することは困難であります。労働環境や営業活動の状況は、概ね2020年7月時点での状況が継続するものと想定し、予想時点で入手可能な情報により合理的と考えられる内容により2021年6月期の連結業績を予想しております。当四半期においては概ね計画どおりに推移しており業績予想の変更はありません。なお、予想にあたって前提とした内容に大きな変化が生じた場合には改めて業績予想を見直し、開示すべき事象が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,289,019	1,833,867
受取手形及び売掛金	624,881	1,029,601
商品	20,902	13,364
仕掛品	65,767	76,576
その他	34,540	69,253
流動資産合計	3,035,111	3,022,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	241,484	245,244
減価償却累計額	△145,392	△150,758
建物及び構築物（純額）	96,092	94,486
工具、器具及び備品	160,346	166,315
減価償却累計額	△129,887	△139,744
工具、器具及び備品（純額）	30,459	26,570
土地	68,836	68,836
有形固定資産合計	195,387	189,893
無形固定資産		
のれん	11,666	8,666
ソフトウェア	52,602	43,211
その他	1,335	1,335
無形固定資産合計	65,604	53,213
投資その他の資産		
投資有価証券	35,150	52,925
繰延税金資産	72,430	77,656
その他	66,854	66,516
投資その他の資産合計	174,435	197,097
固定資産合計	435,428	440,204
資産合計	3,470,539	3,462,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	167,044	219,694
短期借入金	160,000	215,000
1年内返済予定の長期借入金	49,920	21,040
未払金	258,498	157,641
未払費用	429,235	136,076
未払法人税等	132,339	89,102
賞与引当金	30,619	179,817
受注損失引当金	1,963	677
その他	99,827	47,268
流動負債合計	1,329,448	1,066,318
固定負債		
長期借入金	8,560	—
その他	64	—
固定負債合計	8,624	—
負債合計	1,338,073	1,066,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,176,282	1,201,533
利益剰余金	250,727	468,294
自己株式	△53,933	△48,226
株主資本合計	2,066,326	2,314,851
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,131	18,517
その他の包括利益累計額合計	7,131	18,517
非支配株主持分	59,008	63,180
純資産合計	2,132,466	2,396,549
負債純資産合計	3,470,539	3,462,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2021年3月31日)
売上高	3,726,329	3,496,694
売上原価	2,332,911	2,209,928
売上総利益	1,393,418	1,286,765
販売費及び一般管理費	873,832	831,326
営業利益	519,586	455,439
営業外収益		
受取利息及び配当金	472	1,038
その他	3,002	1,705
営業外収益合計	3,474	2,743
営業外費用		
支払利息	1,525	1,403
その他	44	0
営業外費用合計	1,569	1,403
経常利益	521,491	456,779
特別損失		
事務所移転費用	8,946	—
その他	205	—
特別損失合計	9,151	—
税金等調整前四半期純利益	512,339	456,779
法人税、住民税及び事業税	194,714	155,736
過年度法人税等	—	△20,126
法人税等調整額	△36,567	△10,250
法人税等合計	158,147	125,359
四半期純利益	354,192	331,420
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,233	7,159
親会社株主に帰属する四半期純利益	341,959	324,260



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	354,192	331,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,687	11,386
その他の包括利益合計	△5,687	11,386
四半期包括利益	348,505	342,806
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336,272	335,646
非支配株主に係る四半期包括利益	12,233	7,159

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	ITソリューション事業	ITサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,363,806	362,522	3,726,329	—	3,726,329
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,648	291	15,939	△15,939	—
計	3,379,455	362,813	3,742,269	△15,939	3,726,329
セグメント利益	504,335	39,839	544,175	△24,589	519,586

(注) 1 セグメント利益の調整額△24,589千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△26,652千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の上場維持に係る費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	ITソリューション事業	ITサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,220,122	274,271	3,494,394	2,300	3,496,694
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,470	230	12,700	△12,700	—
計	3,232,592	274,501	3,507,094	△10,400	3,496,694
セグメント利益	454,694	32,195	486,889	△31,450	455,439

(注) 1 セグメント利益の調整額△31,450千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△31,002千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の上場維持に係る費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。